

鉱工業とは普段あまり耳にしない言葉ですが、鉱業と工業を合わせて鉱工業という言い方をします。

鉱工業指数は、国内の鉱工業の生産活動を総合的に表す指標で、生産、出荷、在庫の動向をいち早く捉えることが出来ることから、景気判断などに用いられます。

生産・出荷・在庫それぞれに指数がありますが、最も重要で代表的なのは、生産の指数です。

鉱工業指数の生産の部門には「繊維工業」「鉄鋼業」や「化学工業」など19種類あり、その中に多くの品目があります。山口県では229品目を採用して集計し、指数を公表しています。

現行の鉱工業指数は、「平成22年(2010年)=100」を基準として、物価の影響を除いた量的変動で表しています。

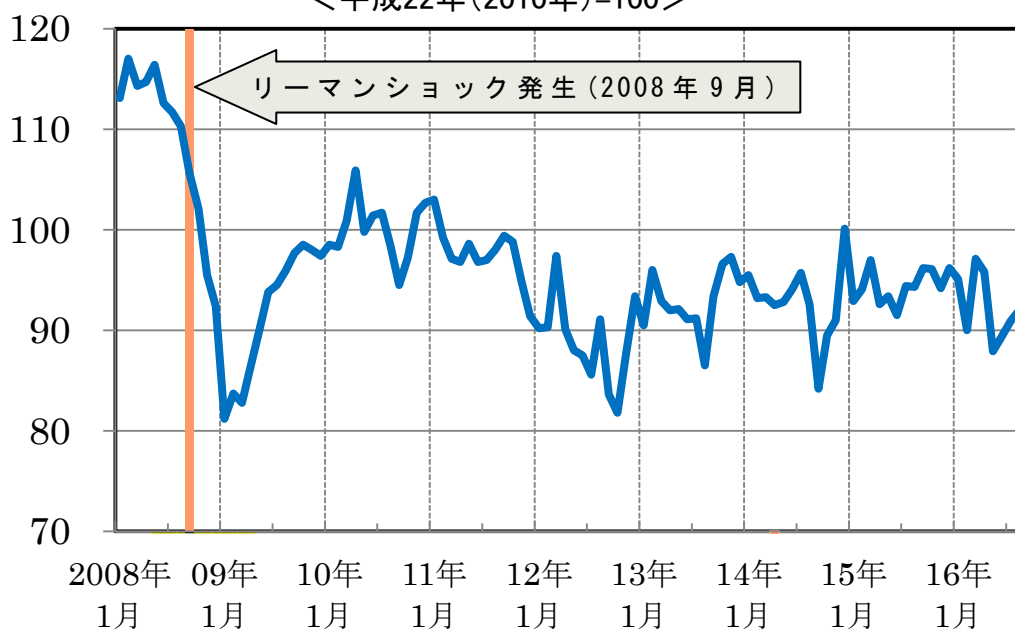
では、山口県鉱工業指数(生産)のグラフをみてみましょう。大ざっぱに言えば、平成22年の生産量の水準が100で、現在が90あたりの水準で上下していますので「平成22年に比べて生産量は9割くらいだな」といった感じになります。

鉱工業指数(生産)は、基準年から生産量がどう増減したのかを毎月みていますが、リーマン・ショックの時には、山口県でも生産量が大きく落ちています。このように、経済情勢と照らしながらグラフや数字をみると興味がわいてくると思います。

県では、毎月中旬に統計分析課のホームページに前々月分の指数を公表しています。全国や中国地域との比較、業種別のグラフなども掲載していますので、ぜひ一度ご覧下さい。

山口県鉱工業指数(生産)の推移

<平成22年(2010年)=100>



出典：「山口県鉱工業指数」山口県統計分析課ホームページ

(<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a12500/koukou/koukou.html>)